



～子どもも大人も一緒に学校づくり地域づくり～

はたえっこ

糸島市立波多江小学校学校通信

令和7年度 第11号 文責 校長 重富 泰敏

令和7年10月2日

「波多江の宝 佐敷の宝」 5年生沖縄佐敷小学校との交流

9月4日に校区「佐敷会」からゲストティーチャーをお招きして、沖縄県佐敷小学校との交流の歴史について話していただきました。

波多江小は、戦後間もなく沖縄県の佐敷小と子ども同士（代表）やPTA地域の交流を行っていました。

波多江小の保護者の方で、小学生時代に佐敷小に交流に行った方もおられるかもしれません。

現在は、ICT機器を活用して、オンラインで交流することができるようになりました。

学習テーマは「波多江小の宝、佐敷の宝」と題して、学校や地域の「宝」について交流していきます。

子ども
の
写
真
は
掲
載
し
ま
せ
ん

【波多江校区 佐敷会 吉岡さんの話を聞いてミニ感想文】

5年生 「吉岡さんの話を聞いて知ったこと」

吉岡さんの話を聞いて波多江小と佐敷小との交流をずっと前から何度もしていることを知りました。

吉岡さんたちが沖縄旅行に行った時には、おたがいに友達のように仲よく接していたそうです。

自分たちも波多江小と佐敷小との交流を大切にこれからも続けていきたいと思いました。

5年生 「責任もって」

佐敷の方々との交流の歴史の長さを知って、これからも続くように自分も責任をもって交流していきたいと思いました。また、吉岡さんの話を交流に生かしたいです。

5年生 「佐敷スポット」

沖縄が昔、こんなに苦労していたということが分かりました。また、シュガーホールやエイサーなど、いろんなことを教えてくれました。琉歌のことも知ることができてよかったです。

5年生 「吉岡さんの話 初めて知りました」

吉岡さんの話を聞くことで、インターネットや本をつかっても知ることのできなさそうな、きちょうな事を知りました。吉岡さんの話の中で、「佐敷小との初めての交流は昭和36年で、佐敷小の方が16人ぐらいで来てくれた。」と言われてました。このことも初めて知りました。2回目の交流会が楽しみです。

5年生 「波多江小と佐敷小の きずな」

吉岡さんが歌ってくれた琉歌が印象に残りました。波多江小と佐敷小のきずなが歌詞に深くこめられていて、とても感動しました。沖縄の人たちは、年上の先ばいや先祖を尊敬し大切にしていることや、一つひとつのお墓が大きいことを知ることができました。そこから、沖縄の人たちは、やさしい人たちがたくさんいるのだと感じました。

波多江小に「ブランコ」がつけました

夏休み中に、ブランコを市教委から設置していただきました。

波多江小では、ブランコが8年ほど前に老朽化して撤去して以来、そのままになっていました。

小学校の遊具については、子どもたちが体を動かすことの楽しさを知ったり、体力や運動能力をつけたりするためにあると考えます。また、遊びを通して友だちと仲良くなったり、順番を守り安全に遊ぶなどのルールを学んだりする機会にもなります。波多江小では、夏休み明けの一定期間を「安全な遊び方」の

指導を確実に実施しました。また、利用1～2週目は各学年ごとに遊ぶ日にちを決め、一度安全に遊んでから自由に使うように指導しました。

休み時間等、ルールを守って楽しく遊ぶ姿が見られます。

子どもたちに「ブランコのどんなところが

楽しい？」と聞いたら、

「風がきもちいいところ！」とか

「ゆれるところがおもしろい！」という声がかえってきました。

ブランコを設置してもらって本当によかったと思っています。

今後も、楽しく安全な遊具の使用への指導に努めていきます。

保護者の皆様の、御理解、御協力をよろしくお願いします。

子どもの写真は掲載しません

夏休みの自由研究「せみのこえは どのくらい おおきいのか」

ひまわり学級の子供たちが、夏休みの自由研究

「せみのこえは どのくらい おおきいのか」を見せてくれました。夏休みのセミを見つけて、写真にとり、鳴いているか？鳴いてないか？鳴いているならどのくらいの大きさか？はかってくれた記録です。

生活の中のふとした疑問を、調べることや記録をつけ続けることは、子どもの興味関心を伸ばし、自分自身の力でテーマ目標をもって取り組むことや、家族との協力、粘り強くやり通す力につながっていきます。校長から、「よく頑張りましたねの賞状(担任作成)」を渡させてもらいました。

研究ノートの最後に、
「せみ72でしべる、ぼく74でしべる、ぼくがかった!」と感想がありました。

観察や記録をもとに、数値で実証し、感想(検証)をもてる力は本当に素晴らしいです。高学年でも、過去に素晴らしい自由研究の内容を紹介しました。どの学年でも自分の興味関心を大切に追い求めていくことや考え続けていくことの大切さを広げていきたいと考えています。

子どもの写真は掲載しません

ひまわり学級さんの秋の体験学習シソジュースづくり

ひまわり学級の子たちからシソジュースをいただきました。

さわやかな香りと甘酸っぱい味わいがあり、とてもおいしかったです。

ひまわりの子どもたちは、季節のことや生活のことに着目し、体験を通して自分の生活に役立てていく学習を大切にしていきます。

このほかにも簡単な調理体験や手作り工作など、学年の学習や縦割り学級での関わり合いを大切に一人ひとりが目標をもって、仲間と関わり合いながら、最後まで粘りづよくやり抜く力を育てています。

「しそジュース、おいしかったよ!ありがとうね～」

【お願い】

少しずつ秋らしくなってきました。朝晩は涼しさと過ごしやすさを感じます。

運動場でも子どもたちが元気に遊ぶ姿がたくさん見られます。

寒暖差も大きくなるので、十分な「睡眠」と「休養」「栄養(食事)」がとることができるよう、家庭での生活リズムづくりや保護者からのお声かけをお願いします。お子様の様子で心配な点や不安なことがありましたら、学校まで御相談いただきますようお願いいたします。